

令和4年11月18日

文化審議会の答申（登録有形文化財（建造物）の登録）

文化審議会（会長 佐藤 信）は、令和4年11月18日（金）に開催された同審議会文化財分科会の審議・議決を経て、新たに109件の建造物を登録するよう文部科学大臣に答申しました。

この結果、官報告示を経て、登録有形文化財（建造物）は13,639件となる予定です。

1. 今回答申された登録有形文化財（建造物）の概要

	新規登録	累 計
登 録 件 数	109	13,639
関係都道府県数	22	47
関係市町村(区)数	37	1,004

○時 代 別 (件)

	江戸以前	明 治	大 正	昭 和			計
				前期 (\$元～ \$20)	中期 (\$21～ \$40)	後期 (\$41～ \$64)	
新規登録	13	37	24	26	9	0	109
累 計	2,432	4,305	2,769	3,517	572	44	13,639

○種 別 (件)

	産 業			交通	官公 庁舎	学校	生活 関連	文化 福祉	住宅	宗教	治山 治水	他	計
	1次	2次	3次										
新 規	0	21	10	3	0	10	0	4	49	10	0	2	109
累 計	123	1,438	1,701	515	240	432	337	467	6,103	1,973	223	87	13,639

(件)

	建 築 物	土木構造物	その他の工作物	計
新規登録	93	0	16	109
累 計	10,831	664	2,144	13,639

今回の答申における主なもの

① ニシン御殿を改修した近代和風ホテル

001 銀鱗荘旧本館（旧猪俣家住宅） 北海道小樽市 明治後期／昭和13年移築

余市に所在した望楼付きニシン漁家主屋を移築し、宿泊施設として改修したもので、50畳もの大広間に堂々とした床構えを配す。神棚や囲炉裏等がニシンで栄えた時代を伝え、玄関ホール等に日本画家の安藤瀨埕（栖阜）の図案による装飾を加え、意匠を凝らした近代和風ホテル。



② 本格的テューダー様式の洋風住宅

008 旧渡辺甚吉邸主屋 茨城県取手市 昭和9年／令和4年移築

東京白金台に所在した実業家の近代洋風住宅で、鉄平石貼りにハーフティンバーとする玄関が目を引く。内部は瀟洒なタイルや石材と、木部の濃密な装飾で、隙のない空間を作り上げる。遠藤健三、山本拙郎、今和次郎の共作。落ち着いた佇まいで我が国のテューダー様式住宅の傑作。



③ 現役の近代和風弓道場

009 本多流洗心洞（高木道場）弓道場 埼玉県久喜市 昭和7年頃／平成23年改修

旧清久村の旧家で、東京大学弓術部師範を務めた医家の弓道場。高い天井で板間の射場を中心に、師範の席で床構え付きの上座、畳敷きの控え、弓置き場を周囲に配する。安土を置く的場とともに典型的な弓道場で、良質な近代和風建築。



提供：久喜市教育委員会

④ 菅笠^{すががさ}の郷で洪水に備える土蔵

050 石川家住宅段蔵^{だんぐら} 大阪府大阪市 明治22年頃／大正後期・平成28年改修

菅笠の郷として知られる深江^{ふかえ}に所在する土蔵で、旧家の宏大な屋敷構えの一角を成す。明治18年洪水被害の後に建築したもので、高石垣に建つ「段蔵^{だんぐら}」と呼ばれる形式。屋敷は主屋の吊り仏壇など洪水に備えた知恵^{おもや}を伝える。町角の地域資源を活かす住民の取り組み「深江まるとミュージアム」の展示建物。



⑤ 和風時計塔がシンボルの近代学校建築

098 高知追手前^{おうてまえ}高等学校本館 高知県高知市 昭和6年／同中期改修

高知城から延びる追手筋^{おうてすじ}に面する鉄筋コンクリート造学校建築。インターナショナルスタイルの3階建ての中央に、宝形造^{ほうぎょうづくり}屋根の和風塔屋^{とうや}を設けて、いわゆる帝冠様式とする。教室や廊下は腰板壁の落ち着いた空間で、屋上の奉安殿^{ほうあんてん}は時代性を伝える。鉄骨造の和風塔屋は時計台として街のシンボルでもある。



⑥ 洪水の被害を乗り越える公衆温泉浴場

108 公衆温泉新温泉^{こうしゅうおんせんしんおんせん} 熊本県人吉市 昭和6年頃

人吉市の市街地にある木造の公衆温泉浴場。男女別の脱衣室と浴場を田の字に配し、ガラス戸を多用して開放的で、入口に番台を置く近代公衆浴場の典型。令和2年洪水被害を受け、有志が集まり復旧し、活用に向けて活動中。



<担当> 文化庁文化財第二課電話：03-5253-4111（代表）

課長 山下 信一郎

課長補佐 田中 佳幹

登録部門 黒坂 貴裕、清永 洋平、須藤 洋行（内線 2797）

審議会係 森 幸一郎、内田 奈緒（内線 3160）

	名称	所在地	建設年代	特徴等	種別		基準
1	銀鱗荘旧本館（旧猪俣家住宅）	北海道小樽市	M後期／S13移築	余市にあった明治後期建築のニシン御殿（ごてん）を昭和13年に移築して、サンルーム等を整えた旅館施設で、石狩湾を望む丘陵に建つ。望楼を構え、広間座敷に神棚や囲炉裏を備える豪壮な漁家（ぎょか）建築に、日本画家の安藤瀧埠（せいふ）による装飾を散りばめる。	産業3次	建築物	1
2	グリル銀鱗荘（旧北海道水産記念館）	北海道小樽市	M後期／S16移築・同44改修	ニシン倉庫を昭和16年に余市から移築し、水産記念館とした建物。入母屋造りの玄関を構え、虫籠窓（むしこまど）を並べた漆喰塗込めの外観と、内部の太い柱梁は重厚で、現在はレストランとして活用。	産業3次	建築物	1
3	ヤマキチ味噌醤油醸造元主屋	秋田県由利本荘市	T5頃／S56改修	かつての川湊（かわみなと）石脇の町にある醸造業の商家。主屋は切妻造り妻入りの奥深い六間取平面で、正面側に前栽（せんざい）を配し、梁と束を重ねた妻面を通りに見せる。店舗は通りに面する寄棟造り妻入りの建物で、通り土間と事務所からなり、主屋と工場棟に接続する。土蔵は主屋と接続する内蔵で、戸口と二階窓に掛子塗の観音開きの戸を吊る家財蔵。工場西棟はキングポスト・トラスの小屋組の広大な醸造工場。工場東棟はコンクリートブロック造で木造変形トラスの小屋組とする醸造工場。醸造業商家の屋敷構えを伝え、地方色ある歴史的景観をつくる。	産業2次	建築物	1
4	ヤマキチ味噌醤油醸造元店舗		T5頃／S38、R3改修		産業2次	建築物	1
5	ヤマキチ味噌醤油醸造元土蔵		T5頃／S中期移築		産業2次	建築物	1
6	ヤマキチ味噌醤油醸造元工場西棟		S前期／R3改修		産業2次	建築物	1
7	ヤマキチ味噌醤油醸造元工場東棟		S32／同38増築		産業2次	建築物	1
8	旧渡辺甚吉邸主屋	茨城県取手市	S9／R4移築	東京白金台に所在した実業家の邸宅。鉄平石（てっぺいせき）貼りにハーフティンバーの二階を載せた玄関棟が目を書く。平面計画から細部装飾まで稠密な設計で、我が国のチューダー様式住宅の傑作。	住宅	建築物	2
9	本多流洗心洞（高木道場）弓道場	埼玉県久喜市	S7頃／H23改修	旧清久（きよく）村の医家の弓道場。弓道場は、板敷の射場（しゃじょう）を中心に床構え付きの上座（かみざ）、弓置き場、畳敷き控えを周囲に配する。窓には矢羽根をモチーフにした棧（か）をあしらう。的場は安土（あづち）を盛り、左右に矢除け板を配し、背後に的置き場を設ける。近代和風弓道場の典型で現役。	文化福祉	建築物	2
10	本多流洗心洞（高木道場）的場		S7頃／H23改修		文化福祉	建築物	2
11	エチソウビル	東京都文京区	T後期／S7頃・同61・H14改修	本郷通り沿いに建つ糸物商の鉄筋コンクリート造3階建て自社ビル。昭和7年頃に大きく増築し、頂部のデンティルや窓上のアーチで飾る外観が目を書く。街の歴史的景観を形成する。	産業3次	建築物	1
12	今半本店西奥座敷	東京都台東区	S26頃／H26改修	仲見世通りの東に所在する料亭の座敷棟。西奥座敷は、春日・吉野・神代（じんだい）の部屋名とする四畳半三室からなり、それぞれ部屋名の杉材を用いて数寄屋風に意匠を整える。東奥座敷は、松・竹・梅の部屋名とする六畳三室からなり、それぞれ部屋名の材を各所に用いて数寄屋風の意匠とし、竹の間は松と梅の続き間にできる造りで宴会に対応。北奥座敷は四畳半三室からなり、建材に凝るのではなく、組子（くみこ）や網代（あじろ）など技法に凝る造り。三棟いずれも数寄屋風小座敷で構成するすき焼き料亭の典型。	産業3次	建築物	2
13	今半本店東奥座敷		S26頃／H26改修		産業3次	建築物	2
14	今半本店北奥座敷		S31頃／H17・同26改修		産業3次	建築物	2
15	岩田家住宅和館	東京都台東区	M末期／T9改修	池之端三段坂の住宅地に所在する近代和風の住宅。客用玄関を通りに開き、中廊下で座敷や茶室を繋ぐ。意匠は華美にならず伝統的で明治らしい和風の応接空間。往時の住宅地の景観を伝える。	住宅	建築物	1

	名称	所在地	建設年代	特徴等	種別		基準
16	墨田区立言問小学校校舎	東京都墨田区	S11／H23改修	花柳街で栄えた向島にある現役の近代学校建築。校舎は鉄筋コンクリート造三階建て、校庭側に開放的で大きな窓を並べ、街路側の昇降口は高窓とする。階段から上下階を見通すなど機能的で進歩的な造り。講堂は鉄骨トラスで大空間を確保し、太い鉄骨柱など、震災復興の影響を見せる。水平性を強調した連窓(れんそう)など、校舎も含めてインターナショナルスタイルの平明な意匠。	学校	建築物	2
17	墨田区立言問小学校講堂		S11		学校	建築物	2
18	国際基督教大学ディッフェンドルファー記念館	東京都三鷹市	S33／H12・R3改修	大学構内の西寄りに建つ講堂兼学生会館で、ヴォーリズ建築事務所が設計した。北壁噴水の内側にオーディトリウムを配し、中庭を中心とした正方形平面で、水平性を強調したガラス面とそのアルミサッシュなど戦後モダニズム建築の秀作。	学校	建築物	2
19	旧吉川英治邸（草思堂）主屋	東京都青梅市	M中期／S23頃改修	旧家の大型養蚕民家を戦後に作家吉川英治の設計で改修した住宅。土間に設けた和洋折衷応接室は編集者などの待合で、吉川のこだわりの設計箇所。続き間座敷は庭に開いて広壮で、執筆や寝室に用いた。洋館は座敷奥の離れで、軒にブラケットを巡らし、正面に瀬戸本業(ほんぎょう)タイル敷きのテラスを配して意匠を凝らし、基礎に大谷石を用いるなど各地の建築資材を集める。戦後は吉川が書斎として利用した。土蔵は棟札に「風門之倉庫」と記す江戸時代の異蔵(たつみぐら)。長屋門はつし二階に窓を設けた造りで、養蚕農家の表構えを構成し、戦時中は疎開者の住居、戦後は吉川が書庫などに使用した。折々に手を加えた旧家の屋敷が歴史的景観を伝える。	住宅	建築物	2
20	旧吉川英治邸（草思堂）洋館		M後期		住宅	建築物	2
21	旧吉川英治邸（草思堂）土蔵		弘化4(1847)		住宅	建築物	1
22	旧吉川英治邸（草思堂）長屋門		E時代末期／S58頃改修		住宅	建築物	1
23	本多家住宅（旧中上川家住宅）主屋	神奈川県鎌倉市	S4／同前期・同29頃改修	鎌倉市街の滑川(なめりがわ)沿いにある実業家の邸宅。主屋は二階建ての近代和風住宅で、一階は中廊下を通して和洋室を配し、二階南面に日光浴のためのサンルームを設ける。門は板扉を開き、塀は塀板張で、瓦葺きとする。全体として落ち着いた佇まいの和風建築で、鎌倉の歴史的風致を構成する。	住宅	建築物	2
24	本多家住宅（旧山本家住宅）門及び塀		S29／H10改修		住宅	工作物	1
25	松永記念館無住庵	神奈川県小田原市	S30頃／同50頃・R2移築	実業家の松永安左エ門(耳庵(じあん))晩年の茶室。古民家の部材を用い、土間・板間・水屋・茶席からなる田の字型平面で、小屋裏を現し、元は茅葺きの田舎家風茶室。	住宅	建築物	2
26	山口蓬春記念館（旧山口蓬春邸）主屋	神奈川県三浦郡葉山町	T前期／S32・同40増築、H3・同25改修	一色海岸を望む丘陵に建つ日本画家山口蓬春(ほうしゅん)の旧自邸。主屋は大正期の和風住宅で、昭和32年に建築家吉田五十八(いそや)の設計で茶の間・風呂棟を増築したもの。繊細な納まりで和室とベランダの連続性を実現する。画室は主屋の西に位置し、吉田五十八の設計になる建築。室内は大壁で細かな線を排除し、ベランダ境は天井高までの引込み障子戸によって開放的で眺望を確保する。	住宅	建築物	2
27	山口蓬春記念館（旧山口蓬春邸）画室		S28		住宅	建築物	2
28	えちごトキめき鉄道市振駅駅舎	新潟県糸魚川市	M41／S後期改修	旧北陸本線の日本海沿いに建つ鉄道建築。駅舎はいずれも平屋建ての東半に待合室と改札口、西半に事務室などを配し、待合室南面から北面にかけて下屋を巡らし通路とする、明治末期の北陸本線駅舎の様相を伝える。市振駅は方杖付きの庇柱、親不知駅はスリット入りの長方形断面の庇柱が特徴的。市振駅ランプ小屋は照明用燃料油の煉瓦造保管庫で、軒の雁木(がんぎ)積みやベディメントで装飾し、鉄道駅油庫の典型。	交通	建築物	2
29	えちごトキめき鉄道市振駅ランプ小屋		M41		交通	建築物	2
30	えちごトキめき鉄道親不知駅駅舎		M45／S後期改修		交通	建築物	2
31	石川県立能楽堂能舞台	石川県金沢市	S6／同46移築	兼六園南側の能楽堂建設に際し、広坂(ひろさか)から移築した能舞台。入母屋造りの典型的な橋掛り付き能舞台。化粧材に台湾檜を用い、足元の延石(のべいし)は戸室石(とむろいし)を用いるなど、時代と地域性を示す。後座(あとざ)鏡板の松図は日本画家の玉井敬泉(けいせん)による。加賀藩以来の能文化を伝える。	文化福祉	建築物	2

	名称	所在地	建設年代	特徴等	種別		基準
32	杉原商店主屋	福井県越前市	T14	越前和紙産地の不老町に所在する和紙問屋屋敷。主屋は切妻造り妻入りの越前の伝統的な間取りを基本とした二階建てで、良材を用いて漆塗り仕上げとする上質な近代和風住宅。西土蔵と東土蔵は規模が大きく、和紙製品を納めた商品蔵で和紙問屋の隆盛を示す。事務所は窓の大きな土蔵造りで、改修して居室とする。表門は通りに北面する薬医門（やくいもん）で、軒は一軒（ひとのき）繁垂木（しげだるき）、両袖に板塀を付し和紙問屋の表構えとなる。納骨堂は敷地背面側の高台に位置する鉄筋コンクリート造の小堂。宝形（ほうぎょう）造り屋根、軒の繁垂木など丁寧な造りで、地方の鉄筋コンクリート造仏堂として貴重。	住宅	建築物	2
33	杉原商店西土蔵		T6／H30改修		住宅	建築物	1
34	杉原商店東土蔵		T10／S50頃改修		住宅	建築物	1
35	杉原商店事務所		S8／同50頃移築		産業3次	建築物	1
36	杉原商店表門		T後期		住宅	工作物	1
37	杉原商店納骨堂		S6		住宅	工作物	2
38	木下家住宅主屋	福井県丹生郡越前町	M15／同20移築・S50頃改修	山間の集落に所在する旧家の主屋と表門。主屋は切妻造り妻入りの越前の伝統的な間取りとする一方で、入母屋造りの式台玄関と漆喰塗込めの重厚な外観が特徴的。土間の太い梁組みも含めて重厚な造り。表門は主屋の正面に位置する棧瓦葺きの薬医門で、旧家の風格と歴史的景観を構成する。	住宅	建築物	1
39	木下家住宅表門		M20頃		住宅	工作物	1
40	セイコーエプソン創業記念館（旧大和工業事務所）	長野県諏訪市	S20／同43頃増築・H23改修	諏訪湖東岸にある時計部品製造会社の二階建て事務所。各階とも連窓を並べた開放的な外観とし、内部は一階が片廊下、二階は中廊下式の平面とする。物資の乏しい時代に、寒天工場の部材を転用して建築したと伝わる、諏訪の時計製造の原点。	産業2次	建築物	2
41	日本聖公会中部教区稲荷山諸聖徒教会	長野県千曲市	S8／同62改修、H15増築	善光寺街道沿いに所在する切妻屋根が印象的な教会。両側面にバットレス風の柱形と半円アーチ形窓を並べる。内部は単廊（たんろう）式で、会衆席（かいしゅうせき）・聖所・至聖所（しせいじょ）を軸線上に並べる。地下に納骨堂を設ける。地方の昭和初期鉄筋コンクリート造教会として貴重。	宗教	建築物	2
42	永住寺鎮守殿	愛知県新城市	T15	曹洞宗寺院の仏堂と山門。鎮守殿は入母屋造り妻入りで、内・外陣を虹梁（こうりょう）で区切り、内々陣に宮殿（くうでん）を置く。伽藍南西端を構成し、稲荷信仰と習合する吒枳尼天を祀る。山門は本瓦葺き、二軒（ふたのき）繁垂木、信州立川（たてかわ）流による彫刻で飾る重厚で華やかな四脚門。既登録の本堂などを含め、伊那街道沿いの地方色と格式ある伽藍構成を留める。	宗教	建築物	1
43	永住寺山門		寛政6（1794）		宗教	工作物	3
44	土山家住宅（土山宿本陣跡）主屋	滋賀県甲賀市	S35	東海道土山宿（つちやましゅく）の本陣職を務めた旧家の屋敷。主屋は切妻造り平入りの二階建て町家。前身の本陣建物の柱や虹梁形差物を用い、かつての本陣の表構えを偲ばせる。離れは庭を介して主屋と渡り廊下で繋ぐ切妻造りの平屋建てで、二列四室の平面で、大床（おおどこ）を構えた上段の間を設け、本陣の格式を示す。土蔵は平入りで、一階を板敷の二室に区切り、二階は一室とする江戸期の家財蔵で、本陣の遺構として貴重。米蔵は板を積み上げたいわゆる井籠蔵（せいろぐら）で、珍しい構造で貴重な土蔵。	住宅	建築物	1
45	土山家住宅（土山宿本陣跡）離れ		M後期／T後期・S中期改修		住宅	建築物	1
46	土山家住宅（土山宿本陣跡）土蔵		E末期		住宅	建築物	1
47	土山家住宅（土山宿本陣跡）米蔵		E末期		住宅	建築物	1
48	吉岡家住宅主屋	京都府木津川市	E後期／M17頃移築	岩船寺北の当尾（とうの）にあり、江戸時代には大庄屋を務めた旧家の主屋。大和棟の茅葺き民家で、床上は六間取り平面、土間にはイモグラと七連竈（かまど）を設ける。差鴨居（さしがもい）を突止め溝にして古式を残す。	住宅	建築物	2

	名称	所在地	建設年代	特徴等	種別		基準
49	石川家住宅主屋	大阪府大阪市	E末期／S前期・同50代・H27改修	菅笠(すげがさ)産地で知られる旧深江村の旧家の屋敷。主屋は瓦葺き平入りのつし二階建てで、床上は田の字形の農家型平面で、当初の土間は広大で梁組の木柄(きがら)太く豪壮。仏間座敷に吊り仏壇を備えて洪水に備える。段蔵は敷地北西隅に位置する乾蔵の土蔵で、高石垣(たかいしがき)に建てて洪水に備えたもの。道具蔵は敷地西辺に位置し、段蔵と対照的な平地の土蔵。長屋門は敷地南辺に位置し、木柄太い大戸と格子戸を建て、出格子窓を設けて屋敷の表構えとなる。南西塀は敷地南・西辺を巡る土塀で、西辺に切石で開口を設けて板戸の勝手口を開ける。北東塀は敷地北・東辺を巡る真壁造腰板張り。洪水に備えた地域色を留め、地域の歴史的景観を形成する。	住宅	建築物	2
50	石川家住宅段蔵		M22頃／T後期・H28改修		住宅	建築物	2
51	石川家住宅道具蔵		S前期		住宅	建築物	1
52	石川家住宅長屋門		M22頃／S前期・同45頃改修		住宅	建築物	1
53	石川家住宅南西塀		M22頃		住宅	工作物	1
54	石川家住宅北東塀		M22頃／S前期改修		住宅	工作物	1
55	深江郷土資料館別館(旧幸田家住宅)主屋	大阪府大阪市	S10／R2改修	奈良街道沿いの旧深江村の旧家の屋敷。主屋の一階は土間と床上七室からなる農家型平面で伝統的、二階は中廊下式平面で近代の様相を示す。座敷廻りの意匠など用材を吟味した近代和風住宅。土蔵は敷地北面に位置し、中二階を設けるなど床を三段階に設けて洪水に備えた納屋的な土蔵。乾蔵(いぬいぐら)は敷地北西隅に位置し、腰に板塀を一体とする。石垣と石段で入口と床を高くした、地域で段蔵(だんぐら)と呼ぶ形式で洪水に備える。表門は土蔵の間に位置し、木柄太く八双金具(はっそうかなぐ)などで格式を整える。洪水に備えた地域色を留め、地域の歴史的景観を形成する。	住宅	建築物	2
56	深江郷土資料館別館(旧幸田家住宅)土蔵		S10／同後期・R2改修		住宅	建築物	1
57	深江郷土資料館別館(旧幸田家住宅)乾蔵及び塀		S10／R2改修		住宅	建築物	1
58	深江郷土資料館別館(旧幸田家住宅)表門		S10／R2改修		住宅	工作物	1
59	聖贖主教会(博愛社礼拝堂)	大阪府大阪市	S11／同62・H26改修	ヴォーリズ建築事務所が設計したロマネスク調の鉄筋コンクリート造教会。正面バラ窓と、鐘楼(しょうろう)塔屋(とうや)とタレットが特徴的な外観。当初一階は社会福祉のために使用し、二階以上を礼拝堂とした。意匠平明で落ち着いた空間の教会建築。	宗教	建築物	2
60	旧木南家住宅主屋	大阪府枚方市	天保3(1832)／R元改修	枚方宿(ひらかたしゅく)の旧家の主屋。切妻造り平入りで虫籠窓と出格子を見せる表屋(おもてや)と、中庭を介して奥行三間の居宅棟が平行する。棟札で建築年代が明らか、江戸期の表屋造り町家として貴重。	住宅	建築物	2
61	天理図書館西館	奈良県天理市	S5	天理大学構内に位置する天理教全体の総合図書館。西館はロマネスクを基調として要所をライト風とする外観で、内部では書棚を鉄骨書架柱としてコンクリートスラブを支える構造が特徴的。設計は建築構造を専門とした坂静雄(ばんしずお)と学校建築を手掛けた島田良馨(しまだよしか)による。東館は西館の後方に増築した書庫棟で、ロマネスク調に外壁をスクラッチタイル貼りとして西館と一体的な外観意匠とする。	学校	建築物	2
62	天理図書館東館		S38		学校	建築物	2
63	浄楽寺本堂	奈良県橿原市	M20	耳成山北の集落中央に位置する浄土真宗寺院。本堂は入母屋造り平入りで向拝を付す。縁を巡らす外陣と、左右余間を付す内陣からなる。多武峰(とうのみね)妙楽寺輪蔵の部材を購入して建てたことが文書から分かる貴重な建物。門は境内東辺に開く薬医門で、木鼻や墓股の意匠は伝統的で質実。集落の歴史的景観を形成する。	宗教	建築物	1
64	浄楽寺門		M中期		宗教	工作物	1

	名称	所在地	建設年代	特徴等	種別		基準
65	瑞穂酢（大西家住宅）主屋	奈良県橿原市	T前期／S38・同43・同57・R元改修	耳成山(みみなしやま)北の集落で食酢(しょくす)醸造を営む旧家の屋敷。主屋は切妻造り平入りで、西側床上是六間取の農家型平面で、北側に式台玄関を構え、東側を土間とする。通し柱を多用する構法とし、材を吟味した住宅。内蔵は敷地北辺に位置する道具蔵で、蔵前を介して主屋と接続する。屋根は置き屋根形式で漆喰で塗り込めた丁寧な造りとし、築地塀とともに屋敷構えを形成する。旧味噌蔵は敷地北東隅に位置する平屋建てで、壁を漆喰塗り込めて腰を板張りとする。北蔵は敷地北西に位置する酢蔵(すぐら)で、内部に大きな杉樽を並べ、作業用の二階床を設ける。中蔵は北蔵の南東に接続する醪(もろみ)の压榨場(あっさくじょう)とした酢蔵で、南蔵と接続して大空間とする。南蔵は東に下屋を付して一体の空間とし酒槽(さかぶね)を置き、南に材料庫を設け、醸造業の隆盛と共に酢蔵を増やした様子が分かる。旧麹室は敷地南西にあり、麹を管理する土蔵造りの平屋建て。内部に木製麹室を入れ子とする。米蔵は敷地南にある長大な土蔵造りの建物で、元は門扉の付いた長屋門で中央の通路を残す。旧充填場は主屋の南に建つ平屋建て、詰所(つめしょ)を付す。旧仕込み場は敷地の東寄りにあり、北側に井戸を備え、洗米等の工程を行った。門屋は敷地北辺に開く長屋門で、出格子を正面に備える。中門は主屋の座敷庭を区画し、式台玄関への入口となり扉や腰板の意匠に凝る。全体として、北側の旧家の接客空間と、伝統的な食酢製造の工程を示す建物群。	産業2次	建築物	2
66	瑞穂酢（大西家住宅）内蔵及び北築地塀		M24		産業2次	建築物	1
67	瑞穂酢（大西家住宅）旧味噌蔵		T前期／S後期・H19改修		産業2次	建築物	1
68	瑞穂酢（大西家住宅）北蔵		M中期／S後期改修		産業2次	建築物	2
69	瑞穂酢（大西家住宅）中蔵		M後期／S後期改修		産業2次	建築物	1
70	瑞穂酢（大西家住宅）南蔵		T前期／S後期改修		産業2次	建築物	1
71	瑞穂酢（大西家住宅）旧麹室及び築地塀		T前期／S中期改修		産業2次	建築物	1
72	瑞穂酢（大西家住宅）米蔵		T前期／S中期改修		産業2次	建築物	1
73	瑞穂酢（大西家住宅）旧充填場		T前期／S中期改修		産業2次	建築物	1
74	瑞穂酢（大西家住宅）旧仕込み場		T前期／S中期改修		産業2次	建築物	1
75	瑞穂酢（大西家住宅）門屋及び中門		T前期		産業2次	建築物	1
76	北岡本店酒蔵東棟	奈良県吉野町	S5	吉野川北岸の上市(かみいち)の町並みに所在する、造り酒屋の鉄筋コンクリート造酒蔵。東棟は敷地形状に合わせた複雑な平面形で、比較的自由的な架構とする。西棟は柱と梁の架構が規則的で進歩が窺える。いずれも陸屋根(ろくやね)で作業場となる。関東大震災後に普及が始まった鉄筋コンクリート造酒蔵として貴重。	産業2次	建築物	3
77	北岡本店酒蔵西棟		S7		産業2次	建築物	3
78	上田家住宅米蔵及び中蔵	和歌山県橋本市	E末期	紀ノ川南岸の旧家の主屋背面川側に建つ土蔵。土蔵二棟の正面庇と二階の壁を繋げて一体とする。川側に窓を左右対称に設けて意匠を整える。既登録の主屋などと共に旧家の屋敷構えを形成する。	住宅	建築物	1
79	旧浦清兵衛商店店舗	和歌山県有田郡広川町	M後期／R4改修	旧広(ひろ)村の中心地に建つ造り酒屋の旧店舗。入母屋造り本瓦葺きの二階建て町家で、外壁は黒漆喰仕上げで重厚に見せる。辻角(つじかど)に開く大きな格子窓が特徴ある町並みを形成する。	産業3次	建築物	1

	名称	所在地	建設年代	特徴等	種別		基準
80	漆原家住宅主屋	香川県高松市	E後期／M35頃・S中期改修	讃岐平野南辺に位置する郷土(ごうし)の屋敷。主屋はいわゆる四方蓋(しほうぶた)造りで南面し、東半を広大な土間、西半を六間取りを基本に大小の座敷を多数並べ、南に式台と供待ち部屋を角屋(つのや)で構える。格式ある大型民家建築。湯殿は主屋の座敷西に接続する賓客用湯殿と便所。南半に棚付き洗い場や鉄砲風呂を備え、北半は青磁の便器を置き下地窓を開けるなど、瀟洒な意匠でまとめる。土蔵は主屋の背面側にあり、東半は主屋土間側に開く米蔵、西半は座敷側に開く道具蔵で、渡り廊下で東西を仕切る。二階を金網張りの窓で繋ぎ、床は目透かし張りにして通気を確保するなど機能的。長屋門は敷地南辺にある、長大な入母屋造り本瓦葺きの建物。通りに面して並べた格子窓は小さな高窓で閉鎖的。水肥納屋は長屋門の東にある平屋建てで、床を張らずに水肥のための大甕を三基据える。伝統的な農業の様相を伝える貴重な建物。木納屋は敷地南東隅にあり、通り沿いは土蔵造りで、敷地側を開放とする。重厚な屋敷構えを構成する。中門及び袖塀は、屋敷の表と座敷庭を区画する土塀と、それに開いた薬医門と腕木門。旧家の屋敷内の景観を形成。土塀は長屋門など南辺付属建物部分を除く四方を圍繞(いこよう)する延長262メートルの長大な土塀。讃岐平野の郷土屋敷の、歴史的景観と暮らしを知る貴重な遺構。	住宅	建築物	1
81	漆原家住宅湯殿		M35頃		住宅	建築物	1
82	漆原家住宅土蔵		M前期・S後期改修		住宅	建築物	1
83	漆原家住宅長屋門		E後期／M前期改修		住宅	建築物	1
84	漆原家住宅水肥納屋		M前期		住宅	建築物	1
85	漆原家住宅木納屋		M前期		住宅	建築物	1
86	漆原家住宅中門及び袖塀		M中期		住宅	工作物	1
87	漆原家住宅土塀		E後期		住宅	工作物	1
88	妙法寺山門(勅使門)	香川県丸亀市	M18	丸亀城北側の城下町にあり、重要文化財「蘇鉄図」で知られる天台宗寺院の四脚門。本瓦葺き、軒は一軒繁垂木で柱・梁とも木柄太く重厚。頭貫(かしらぬき)や虹梁の優秀な彫刻は塩飽大工(しわくだいく)によるもので貴重。	宗教	工作物	3
89	久保家住宅主屋	愛媛県松山市	M39頃／S47・R元改修	伊佐爾波(いさにわ)神社参道に面する開業医の屋敷。主屋は寄棟造り棧瓦葺きの平屋建て、元は檜皮葺きの切妻造り玄関に鳳凰の懸魚(げぎょ)を構え、玄関脇に茶室を設ける。東側に続き間座敷、西側に内向きの諸室を配す。離れは敷地北東隅に建つ二階建てで、一階は元は薬品庫として使用し、二階は続き間座敷として主屋座敷庭を眺望する。参道沿いを改修して現在は店舗として活用する。待合は敷地北西隅に位置し、表門と主屋茶室へ飛石(とびいし)で繋ぐ。節丸太を用いた造りで茶室への空間を演出する。表門は切妻造りの腕木門で、抑制の効いた意匠とし、その両脇に延びる塀は鼠漆喰仕上げ腰板張り、参道沿いの落ち着いた屋敷構えを形成する。仕切門は主屋の玄関側と座敷庭側を区画する腕木門。全体として道後の町並みに相応しい近代和風の邸宅。	住宅	建築物	1
90	久保家住宅離れ		T3頃／S3・同24・H23改修		住宅	建築物	1
91	久保家住宅待合		M39頃		住宅	工作物	1
92	久保家住宅表門及び塀		M39頃／R3改修		住宅	工作物	1
93	久保家住宅仕切門及び塀		M39頃		住宅	工作物	1
94	旧梅野商会主屋(砥部むかしのくらし館)	愛媛県伊予郡砥部町	M38／S前期・同25・同37・R2改修	砥部焼で知られる大南(おおみなみ)の中心部にある窯元の店舗兼住居。切妻造り平入りのつし二階建てで、二階に格子窓を開く。庭に面した一〇畳座敷は琵琶床と付書院を備えて窯元の隆盛を示す。蔵は通りに面する土蔵造りの出荷用商品蔵。砥部焼の歴史を示す主屋と蔵で、現在は資料館として活用する。	産業3次	建築物	1
95	旧梅野商会蔵(砥部むかしのくらし館)		M38／S37改修・R2移築		産業3次	建築物	1

	名称	所在地	建設年代	特徴等	種別		基準
96	旧陸軍歩兵第四四連隊弾薬庫	高知県高知市	M後期／S中期改修	市内西部の旧陸軍跡地にある弾薬庫と講堂で、戦後は国立印刷局の三樞(みつまた)・椿(こうぞ)倉庫として用いられた。弾薬庫は煉瓦造平屋建てで、正面に下屋を付す。高床で湿気を抑え、内部は天井・壁・床を板張りとする三室を並べる。講堂は木造平屋建てで、下見板張りの外観に窓を多く配す。当初は内部を三室に区切り、下士官の講義室とした。	その他	建築物	2
97	旧陸軍歩兵第四四連隊講堂		M後期／S中期改修		その他	建築物	2
98	高知追手前高等学校本館	高知県高知市	S6／同中期改修	高知城下の追手筋に面する鉄筋コンクリート造三階建ての校舎。中央に宝形屋根の時計塔を設け、左右対称に翼部を配した記念碑的な外観。武田五一(たけだごいち)指導の下で県営繕技師が設計した、県下を代表する近代学校建築。	学校	建築物	2
99	旧九州帝国大学工学部本館	福岡県福岡市	S5／S63改修	工学部本館は鉄筋コンクリート三階建て、外壁スクラッチタイル貼りの校舎。中央塔屋と、その両脇に半円筒の張り出しを付し、上層は役物タイルで陰影をつけて、城塞(じょうさい)のようなシンボリックで重厚な外観とする。本部事務室棟と建築課棟は大正12年の火災後の復興で、工科大学本館の部材と寄付資材で建築した煉瓦造二階建て。中央塔屋とモルタル洗出し仕上げのコーニスで均整の取れた外観とする。門衛所は大学箱崎地区最古の建築。煉瓦造平屋建て、寄棟造りスレート葺きの小建築。玄関上部はブローケンペディメントで意匠を凝らす。堂々とした建築群で大学の長い歴史とその変遷を示す。	学校	建築物	2
100	旧九州帝国大学本部事務室棟		T14／S39・同43改修		学校	建築物	2
101	旧九州帝国大学本部建築課棟		T14／S40・同48改修		学校	建築物	2
102	旧九州帝国大学門衛所		T3／同13移築、S33・H24改修		学校	建築物	2
103	浄福寺本堂	福岡県大川市	天保5(1834)／H16改修	榎津(えのきづ)の町並みに所在する浄土真宗寺院。本堂は入母屋造り平入りで、正面向拝を付し、内部は典型的な浄土真宗本堂の間取り。向拝廻りと内外陣境欄間に華やかな彫刻を施す。離れ座敷は本堂の背面に接続し、続き間座敷とその周囲に廊下を巡らす。床構えは床脇の奥まった配置に地域色がある。山門は切妻造り棧瓦葺きの薬医門で、木柄太く質実。木工で知られる町並みの歴史的景観を形成する。	宗教	建築物	1
104	浄福寺離れ座敷		T5頃／H16・同28・R3改修		宗教	建築物	2
105	浄福寺山門		M5頃		宗教	工作物	1
106	街蔵石倉(旧緑屋石倉)	熊本県人吉市	M35頃／S16頃移築	旧城下の市街地にある味噌醸造施設。石倉は江戸切り仕上げの切石積みで、人吉地方の溶結凝灰岩を用いて近代に数多く建築された。麴室は石倉前面にあるコンクリートブロックと木造の建物で、切妻造りの屋根に越屋根を備える。元は北東側に麴室を設けた。地方色ある味噌醸造の歴史的景観を伝え、現在は貸しスペースとして活用する。	産業2次	建築物	1
107	街蔵麴室(旧緑屋麴室棟)		S16頃／同41改修		産業2次	建築物	1
108	公衆温泉新温泉	熊本県人吉市	S6頃	温泉街にある公衆浴場で、入母屋造りの正面に庇を付け、男女別の入口を開け、番台を置く典型的な造り。脱衣室と浴場で田の字形平面として、本来はガラス戸を多用した明るい空間。令和二年熊本豪雨の被害から復旧に向けて有志が活動する。	文化福祉	建築物	2
109	旧江夏岩吉家住宅主屋	宮崎県都城市	T15／S10増築・R3改修	大淀川(おおよどがわ)沿いに所在する味噌醸造業を営む旧家の邸宅。西面に玄関を設け、南東に広がる庭に面して続き間座敷と広縁を巡らす。東側に増築した洋室は、外壁を石積み風モルタル塗り洗い出し仕上げとする。全体に良材を用いた上質な近代和風建築。	住宅	建築物	2
注 建設年代:Eは江戸、Mは明治、Tは大正、Sは昭和、Hは平成、Rは令和の略。 種別:土木は土木構造物、工作物はその他工作物の略。 基準:1は国土の歴史的景観に寄与しているもの、2は造形の規範となっているもの、3は再現することが容易でないもの。							